

勝浦市立 勝浦中学校 第 24 号 H31.3.22 発行



〈新生勝浦中、さらなる発展を〉

校長 井上 晴彦

3月12日に卒業式を終え、98名の卒業生がこの学び舎を 後にしました。幸いにも春の温かく穏やかな陽射しに包ま れました。今年度もとても感動的で、さわやかな卒業式を 実現できました。関わった全ての皆様方に心から感謝する ところです。

いよいよ平成から新しい元号へ切り替わる時を間もな く迎えます。4月に新一年生が入学すると、ついに全校で 新たな制服とジャージが勢揃いします。また、現在工事中 のプールも間もなく完成します。何という巡り合わせの妙 味でしょう。まさに、新生勝浦中学校が本格的に動き出す、 という感じです。

4月から二、三年生に進級する生徒にとっては、記念す べき時を過ごすことになります。先輩達の活動を受け、委 員会活動や行事などが向上しています。まだまだ向上する 余地はたくさんあります。学校、家庭、地域がさらに連携 を進め、勝浦中学校が進化を続けていくことを心から願っ ています。よろしくお願い致します。

A COMPANIA COMPANIA COMPANIA MA COMPANIA COMPANIA COMPANIA COMPANIA

厳かに卒業証書授与式

3月12日(火)たくさんの来賓、保護者に、見守 られる中、3年生98名が巣立って行きました。校長 先生は式辞の中で、「敬天愛人」という西郷隆盛の言 葉を引用し、変化にとんだこれからの生活への激励を

くださいました。髙梨三之助君は、卒業生 答辞で3年間の思い出とこれからの生活に 向けての決意を表明しました。



渡邉 雅洋

早いもので、希望や不安を胸にこの勝 浦中へ入学してから一年間が過ぎ、子どもたちはこの一 年で大きく成長してくれました。身体的な成長はもちろ んのこと、特に精神的に一回りも二回りもたくましくな りました。これからの子どもたちの更なる頑張りに期待 します。保護者の皆様にはこの一年間、ご理解とご協力 をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。あり がとうございました。

鈴木 典子

2学年主任 長いようで、あっという間の1年 でした。日々の生活、学習、部活動、各種行事に一 生懸命に取り組んできた生徒たち。時には失敗をし て悔しさのあまり涙したこと。友達関係のことで悩 んだこと・・・。色んなことがありましたが、様々 な困難を乗り越え、大きく成長した姿が今、ここに あります。4月からは、いよいよ最高学年として、 義務教育最後の1年が始まります。生徒達の更なる 活躍を応援しています。1年間、ご協力ありがとうご ざいました。

大久保 巧 3学年主任

3月12日(火)、平成30年度の 卒業証書授与式が行われ、98名が9年間の義務教 育を終え、巣立っていきました。1,2年の生徒は もうすぐ進級し、4月には新たに新入生を迎えるこ とになります。それぞれの立場で、先輩として、見 本となるような行動をとれることを期待していま



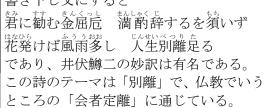
卒業証書授与





がある。

勧君金屈巵 満酌不須辞 花発多風雨 人生足別離 書き下し文にすると



唐の詩人、于武陵が作った詩に「勧酒」

「別離」には、2通りの捉え方があると いう。「別れを惜しむ」"惜別"と、「別れ の時を大事にする」"一期一会"である。 今は3月、別れの季節、それをどう捉える か、受け止めるかは、各人それぞれの心の 持ち方次第。あなたは・・・。

一年間,ご愛読くださいましてありがとう ございました。





